

- ④ エナメル線の両端を、図1のように5 cmと9 cmにして切る。

イ 指針部

- ⑦ コイルの斜線部をていねいにみがく。
 ⑧ 9 cmのエナメル線を先端の所から4 cmの所で垂直におり曲げる。
 ⑨ おり曲げた端に、三角形の原紙を着け、セロハンテープで止める。

ウ 目盛り板と台

- ⑦ 10 cm × 7 cmの厚紙に、切り込みを入れる。

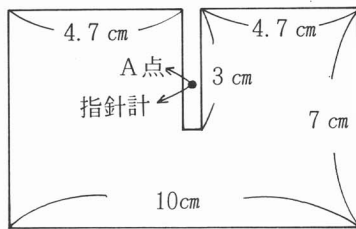


図-2 目盛り板

- ① ゼムクリップをのぼし、U字と筒型の銅板をはさみ、接着剤で固定する。(確実に通電し続けるため、銅板を曲げて作る。)

② 可動磁石型電流計

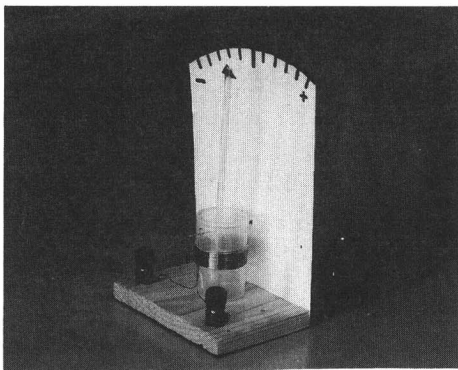


写真-2 可動磁石型電流計

- ⑧ ゼムクリップを台(木版10 cm × 15 cm)に固定するために、台に小さいみぞをつける。
 ⑨ ゼムクリップを、接着剤をつけた画鋲でとめる。
 ⑩ A点から、半径4 cmの円を書き、目盛りをつける。
 ⑪ 目盛り板を台につける。

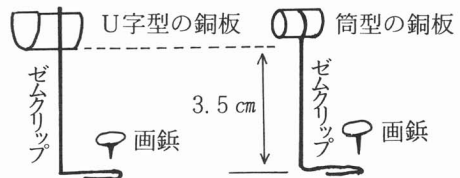


図-3 コイル支持柱のつくり方

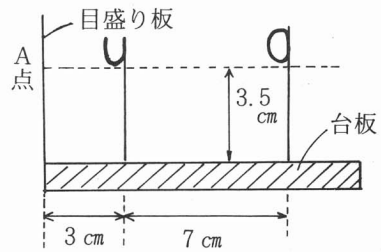


図-4 コイル支持台のつくり方

ア コイル部

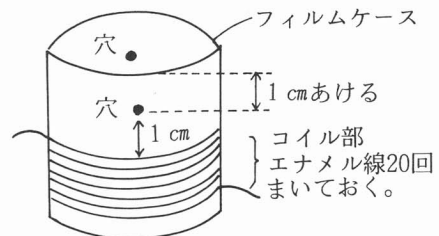


図-5 コイル部のつくり方

- ⑦ フィilmケースの上部から1 cmのところ、熱したくぎで穴をあける。
 ⑧ 穴の1 cm下のところから、エナメル